

二〇一五年三月一日

佐佐木 健充

七番 宮古行

岩手県北バス

苦しいことに

蹟くときも

きつと上手に

超えて行ける

秋田↑盛岡

三〇代男性

未来はそんなに悪くないよ

人生今日よりも良くしよう

「明日は明日の風が吹く」

と思う。

AKB48 2015.3.11

みちのく一人旅 久慈↓藤沢

八戸 17:06 発発はやぶさ二十八号 四席



東京 2004

3.11 について関心を持つ。

東日本大震災を知る

宮古

← 人騒がせだな

久慈

←
八戸駅

SNOWING 3.11

盛岡駅に SNOWING

雪が降る

すごい雪だ

Just a Grate Snow

僕は自然と闘うことになった

雪の 3.11。

湘南から一人で来た

仕事を休んで。

人々は皆

絶望の中を

力強く生きていた。

雪が脅威になったのは

人生初めてです。

踏まれても

踏まれても

立ち直る

蒲公英の如く

達しく生きよ！

坂本龍一の

「セルフポートレート」

建設的・生産的な

気分になる。

希望が持てる

帰ったら郵便貯金を解約する

十二時五十五分宮古着

三陸鉄道北リアス線で久慈に向かう

はつきり言って歌なんて聴いてる

場合じゃない。

僕は世の中を甘くみた

それが間違いのもと

自然 危険

自然体 危険 が伴う

素で行く危険

大自然の脅威

自然と闘う人間たち

僕も男だ。

真剣勝負

負ければ死ぬ

岩手県の皆様へ

四年前の今日

東日本大震災は起きました。

今、山田線が運休したため

宮古から盛岡へ向かうバスの中で

この詩を書いています。

自分なりの犠牲を払い…。

陽が射してきました

太陽が

雪と真っ白な大地を照らしています。

父と母は結婚、丸五十一年

僕は長いこと三・一一については

口をつぐんでいました。

岩手に来て

自然の脅威を見せつけられました。

今日は自分の馬鹿さ加減に呆れた。

でも自分なりに最善を尽くしている

盛岡何時発 17:50 はやぶさ二十八号

盛岡 仙台 大宮 上野 東京

三・二一の日

僕は はやぶさ二十八号で

盛岡をたった

新幹線がホームを滑る

僕は 「用心」が足りなかった。
生き

はやぶさ号東京行

全面禁煙

Ladies & Gentleman

一両き

大雪と強風には新幹

現金はもってトイレ

車掌八号車

東京八時四分

はやぶさ二十八号

男は玄関でたら

七人の敵が居る

用心、用心、

ネえそつと

ほんのジョークと

耳もとで

ささやいてよ

今夜だけきつと

悲しいの

明日になれば

忘れられるのに

風に消えた

明日から0からやり直し

この世界には
力の及ぶものと
力の及ばないものがハッキリある。
力の及ぶもの 「判断、努力、欲望、嫌悪」 意志、心の働き
力の及ばないもの
「肉体、財産、名誉、官職」
力の及ばないものはハッキリと諦めて生きよ。

今日は両親の丸五一年の結婚記念日です。

男は玄関でたら

七人の敵が居る。

ハンズで学んだこと 健充

男は病気であろうとなかろうと

闘わなければならない。

女は飯炊き女でもいいが

男は闘わなくてはならない。七人の敵と。

しらすは内蔵の皮をくわえながら、